

こども新聞
週刊がほピョンプレス
 毎週日曜発行
 2024 4/7
 河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな
子ども
 だった!?

47

きょうのテーマ

みんなは、どんなパンが好きかな？ 仙台市青葉区のパン店「麦薫る風」の「萌芽」には、東松島産ののりを使った塩パンなど約20種類のパンが並んでいるよ。職人の羽生裕二さん(39)は、生まれつき耳が聞こえないため、ジェスチャーや指さしシートで、従業員やお客さんとやりとりをしているんだ。どんな子どもだったのかな。

小学生の頃は、耳が聞こえる子どもたちと同じ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

通学時に食べた味に感動

学校に通っていました。口の形、舌の動きを調整

して声を出す発音練習は大変でしたが、他は楽し

耳が聞こえる聞こえないに関係なく、おいしいパンを焼けば、みんなに喜んでもらえます。職人、起業家として夢をかなえるうってつけの仕事です。



はにゆう・ゆうじ 1984年生まれ。愛媛県出身。宮城県出身の妻との結婚をきっかけに、2010年12月に仙台市へ移住。パン店勤務を経て、22年12月に「萌芽」をオープン。

羽生 裕二さん(39歳・パン職人)

かった思い出ばかり。生まれ故郷は瀬戸内海に面した町だったので、よく釣りをしていました。魚が水面を飛び跳ねる様子、自分でさばいた魚のおいしさは今も記憶に残っています。



小学生の時は、パン職人になるのが夢でした。通学に使っていた駅にパン屋さんがあり、そこで食べたパンのおいしさに感動したからです。でも最近まで、そのことをすっかり忘れていました。

中学は聴覚支援学校に転入しました。両方の環境を知っていることが、その後の生活でのコミュニケーションにとっても役に立っています。耳が聞こえないので、

子どもの頃から本をたくさん読むことで言葉を覚え、気がなつたタイトルの本は何でも読みました。人が生きることや死ぬことに関心があり、特に人生にまつわる本を読みあさっていました。文章を書くのも好きで、中学生になると小説家を夢見ていました。愛ものからホラーまで幅広いジャンルの物語を書きました。今も書いてみたい気持ちはあります。



私は生まれつきですが、病気や事故が原因で耳が聞こえなくなる人もいます。人生は何が起きるか分からないけれど、そのことがやりたいことを諦める理由にはなりません。希望を持って、挑戦してほしいと思います。

今週の注目ニュース

◇9日(火) 「大シルクロード展」開幕
 2014年に国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界遺産に認定された、シルクロードの貴重な宝飾品や仏像、絵画など約200点を展示します。会場は宮城県多賀城市の東北歴史博物館です。6月9日まで。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー